

【記載のポイント】

未来定義

未来定義に経営の意思を込める

現在の経営環境

自社にとって重要なファクトを抜粋して記載

将来のありたい姿

将来のありたい姿を100文字程度で記載

将来の世界観

将来の経営環境を予測し、実現したい世界観を記載

現在の事業構造

将来の事業構造

記載の粒度を将来の事業構造に合わせる

⇒ 現状を詳細に整理するのではなく、将来の事業構造に向けたGAPを把握し、実現ストーリーを描くために現在の事業構造の概要を整理することが重要

経営資源

内部資源

自社内部で保有すべき経営資源を記載

外部資源

外部から調達すべき経営資源、パートナー企業を記載

競争優位性

競合に対して発揮している優位性を記載

提供手法 (How)

価値創出

提供価値の創出方法を記載

顧客接点

顧客接点の創出方法を記載

収益モデル (Why)

将来の経営環境におけるマネタイズ手法を記載

顧客 (Who)

将来メインターゲットとすべき顧客を記載

提供価値 (What)

経営環境変化に対応した提供価値を記載

戦略的目標

事業構造の実現に向けて戦略的に取り組むべき目標を記載

必ずストーリーに落とす

実現ストーリー

主要施策

事業ポートフォリオ/リソース配分の変化、経営インフラの整備等の方向性、マイルストーンや時間軸を記載

課題/アクション

主要施策の実行にあたっての課題、課題に対する解決策を記載